

令和8年度

一関市立一関東中学校 第2回 学校運営支援協議会

日時 令和8年9月3日（木）14:30～

会場：PC 室

【次 第】

委嘱状交付（菅原会長）

1 開 会（副校長）

2 会長挨拶

3 校長挨拶

4 報告・協議

（1）経過報告

（2）第1回教育についてのアンケート結果

（3）その他

5 熟 議

（1）テーマ例「わくわく活動の実現に向けて」

説明→話し合い→シェアリング→まとめ

6 連 絡

（1）今後の日程について（予定）

（2）その他

7 閉 会（副校長）

令和8年度 一関市立一関東中学校 学校運営支援協議会委員名簿（敬称略）

	役職	氏名	所属等	備考
1	委員	菅原 真悦	一関東中学校 PTA 副会長	真滝
2	委員	井上 海	一関東中学校 PTA 事務局長	弥栄
3	委員	佐々木 春枝	一関東中学校元評議員	弥栄
4	委員	千田 豪	牧沢神楽保存会代表	真滝
5	委員	佐藤 勝	富沢神楽保存会代表	弥栄
6	委員	鈴木 征子	真滝地区主任児童委員	真滝
7	委員	熊谷 順子	弥栄地区主任児童委員	弥栄
8	委員	菅原 勝	滝沢地域振興協議会会長	真滝
9	委員	木村 篤	弥栄地区まちづくり協議会代表	弥栄
10	委員	小山 洋子	真滝幼稚園長	真滝
11	委員	及川 大樹	地域おこし協力隊	
12	副会長	菅原 理日	一関東中学校校長	一関東中
13	事務局	小林 義幸	一関東中学校副校長	一関東中

4 報告・協議

(1) 経過報告

9	3	第2回学校運営支援協議会
9	8	市独唱大会
9	9	地方駅伝大会
9	19、20	地方新人大会
9	28	第2回PTA役員会
9	29	中間テスト
10	2	県駅伝大会
10	7	2年県学調
10	中旬	立会演説会、役員選挙
10	17、18	県新人大会前期
10	25	文化祭
11	12	授業参観日
11	13	一関地方中文祭
11	15	市P連教育講演会
11	14、15	県新人大会後期
11	25、26	期末テスト
12	3	第3回学校運営支援協議会

(2) 第1回「教育についてのアンケート結果」について（別紙）

memo

(3) その他

5 熟 議

(1) 熟議について（再掲）

「熟議」とは、多くの当事者による「熟慮」と「討議」を重ねながら政策を形成していくこと。政策を形成する際、①多くの当事者（保護者、教員、地域住民等）が集まって、②課題について学習・熟慮し、討議をすることにより、③互いの立場や果たすべき役割への理解が深まるとともに、④解決策が洗練され、⑤個々人が納得して自分の役割を果たすようになる、というプロセスのことを言う。

【前回】「今年度実現したい活動／生徒がわくわくするような活動」

- ・生徒参加（地区民運動会、にぎわい祭り、マルシェ企画・運営）
- ・雪かきバスターズ ・つながりの森でサバイバル体験、防災体験 ・鶏舞発表
- ・もちフェスにボランティア参加 ・SNS で魅力発信 ・畑、野菜作り
- ・地域のお祭りに参加 ・市民センターで合唱

上記実現ために自分は〇〇ができる／地域は〇〇ができる 等を記入

【今回テーマ】「前回の具体案を参考にし、実現に向けて企画してみよう」

memo

6 その他

(1) 今後の日程について（予定）

【第3回】学校運営支援協議会

令和8年12月 3日（木）14：30～

- ・第2回教育についてのアンケート結果について
- ・熟議

(2) CS の情報発信

- ・及川さんに作成していただき、保護者および地域に送付しました。

令和8年度

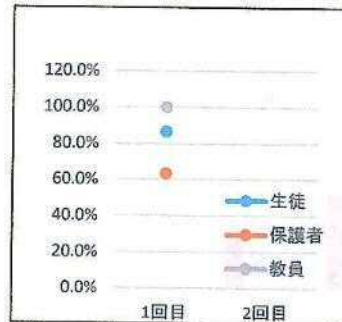
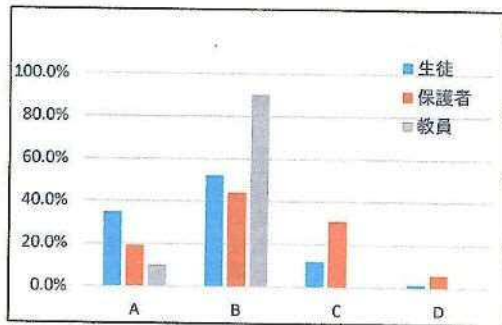
第1回「教育についてのアンケート」結果



一関市立一関東中学校

①学習意欲～自ら進んで学ぼうとしている

(まなびフェスト関連項目)



	A	B	C	D
1 生徒	34.7%	52.0%	12.0%	1.3%
1 保護者	19.1%	44.1%	30.9%	5.9%
1 教員	10.0%	90.0%	0.0%	0.0%

	1回目	2回目
AB計 生徒	86.7%	
AB計 保護者	63.2%	
AB計 教員	100.0%	

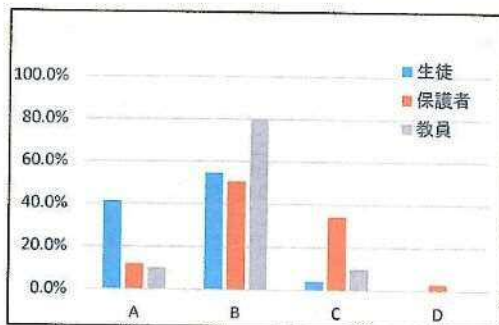
	1回目	2回目
まなびフェスト	80	
生徒AB合計	86.7	
比較	6.7	

生徒の肯定的回答はまなびフェストの目標値を上回っています。一方、保護者の結果は生徒を23%程下回っています。

今後も、各種調査結果を精査し、主体的に学習に取り組む姿勢を育んでいきます。
ご家庭でも引き続き励ましの言葉がけをお願いいたします。

②授業がわかりやすいと感じている

(まなびフェスト関連項目)



	A	B	C	D
2 生徒	41.3%	54.7%	4.0%	0.0%
2 保護者	11.9%	50.7%	34.3%	3.0%
2 教員	10.0%	80.0%	10.0%	0.0%

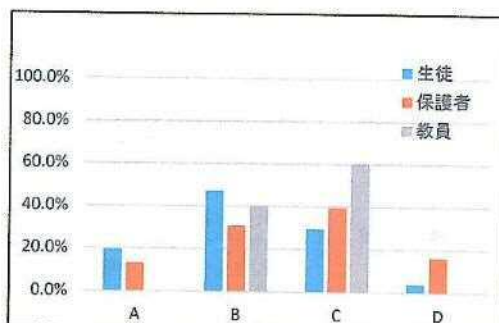
	1回目	2回目
AB計 生徒	96.0%	
AB計 保護者	62.7%	
AB計 教員	90.0%	

	1回目	2回目
まなびフェスト	80	
生徒AB合計	96.0	
比較	16.0	

生徒の肯定的回答の割合が、まなびフェストの目標値を大きく超えています。一方で保護者の回答結果が低いことから、生徒や学校への期待が高いことがわかります。

今後も各種調査結果を精査し、生徒にとって分かりやすい授業を目指し、校内研究および研修を行い、授業力の向上を進めていきます。

③家庭学習に、自ら進んで毎日1時間以上取り組んでいる。



	A	B	C	D
3 生徒	19.6%	47.1%	29.4%	3.9%
3 保護者	13.2%	30.9%	39.7%	16.2%
3 教員	0.0%	40.0%	60.0%	0.0%

	1回目	2回目
AB計 生徒	66.7%	
AB計 保護者	44.1%	
AB計 教員	40.0%	

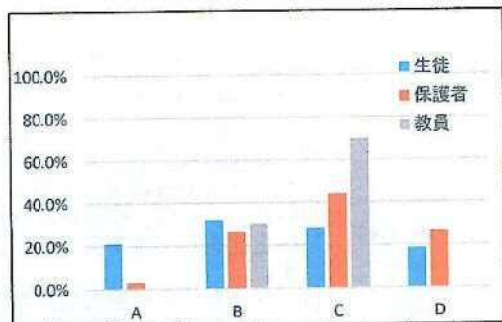
	1回目	2回目
まなびフェスト		
生徒AB合計	66.7	
比較		

生徒の肯定的回答の割合と、保護者・教員との認識にずれが見られる項目です。

学校では、自分に必要な学習に自立的に取り組める生徒を育てるため、授業と連動した課題設定や目標の設定等、工夫して指導していきます。
ご家庭でも、励ましと共に主体的に学習に取り組めるような学習スタートの声がけ等、環境整備をお願いします。

④テスト期間中、ノーメディア（セーブメディア）に取り組んだ

（まなびフェスト関連項目）



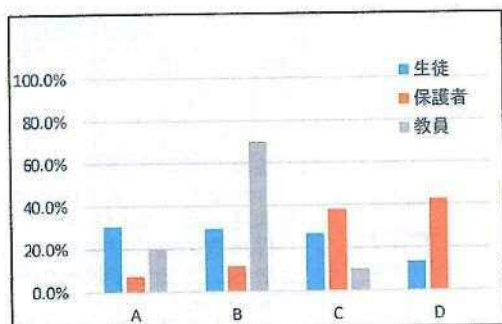
	A	B	C	D
生徒	21.3%	32.0%	28.0%	18.7%
保護者	2.9%	26.5%	44.1%	26.5%
教員	0.0%	30.0%	70.0%	0.0%

	1回目	2回目
生徒	53.3%	
保護者	29.4%	
教員	30.0%	

	1回目	2回目
まなびフェスト	80	
生徒AB合計	53.3	
比較	-26.7	

生徒回答が学びフェストの目標値を27%近く下回る残念な結果となりました。本校の大きな課題となっている項目の一つです。学校では「セーブメディア」の定義を再検討し、生徒に意義を指導します。ご家庭でもⅠ⑮⑯、Ⅲ①②と関連した取り組みをお願いいたします。

⑤読書を日常的に行っている



	A	B	C	D
生徒	30.7%	29.3%	26.7%	13.3%
保護者	7.4%	11.8%	38.2%	42.6%
教員	20.0%	70.0%	10.0%	0.0%

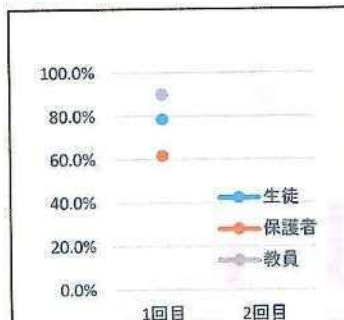
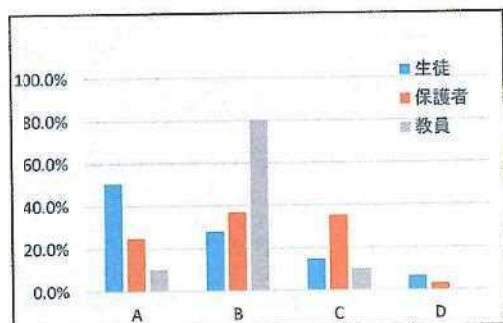
	1回目	2回目
生徒	60.0%	
保護者	19.1%	
教員	90.0%	

	1回目	2回目
まなびフェスト		
生徒AB合計	60.0	
比較		

生徒の肯定的回答が6割、保護者の肯定的回答は2割を切っていることから、家では、あまり読書していない傾向にあると推察します。読書は人生を豊かにし、コミュニケーション能力の向上にもつながると言われます。朝読書の10分間を大切にするとともに、日常生活においても時間を上手に活用し、ご家族で、読書に親しんでほしいと思います。

⑥将来の夢や希望を持っている

（まなびフェスト関連項目）



	A	B	C	D
生徒	50.7%	28.0%	14.7%	6.7%
保護者	25.0%	36.8%	35.3%	2.9%
教員	10.0%	80.0%	10.0%	0.0%

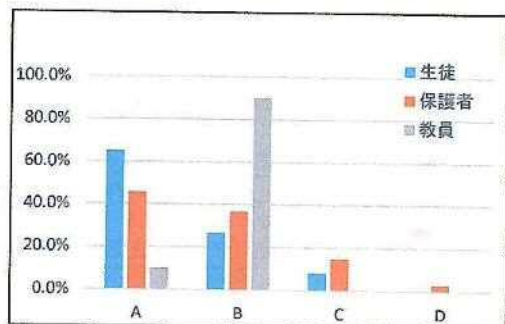
	1回目	2回目
生徒	78.7%	
保護者	61.8%	
教員	90.0%	

	1回目	2回目
まなびフェスト	80	
生徒AB合計	78.7	
比較	-1.3	

わずかながら生徒回答がまなびフェスト目標値を下回っていることが読み取れます。将来に夢や希望が持てるよう、学校では教育活動全般を通して、キャリア教育の充実を継続してまいります。身近な大人の生き方は、思春期の生徒にとって大きな指針になると考えます。「生き方」「働くこと」「社会と関わること」等、ご家庭の話題に加えていただければと思います。

⑦学校が楽しいと感じている

(まなびフェスト関連項目)



	A	B	C	D
生徒	65.3%	26.7%	8.0%	0.0%
保護者	45.6%	36.8%	14.7%	2.9%
教員	10.0%	90.0%	0.0%	0.0%

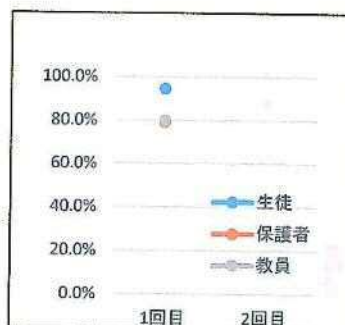
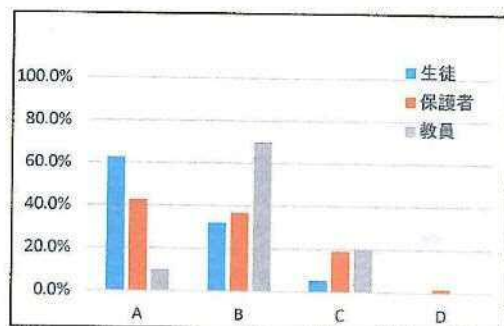
	1回目	2回目
生徒	92.0%	
保護者	82.4%	
教員	100.0%	

	1回目	2回目
まなびフェスト	80	
生徒AB合計	92.0	
比較	12	

生徒、保護者とも高い肯定的回答率をいただいております。学校としても大変嬉しく感じています。

他者との関わりの中で、自ら「価値」を見出し、「楽しさ」を実感できるたくましさ育てたいと考えます。生徒の肯定的回答率100%を目指し、引き続き魅力ある学校づくりを進めてまいります。

⑧学校でも地域でも進んで挨拶をしている



	A	B	C	D
生徒	62.7%	32.0%	5.3%	0.0%
保護者	42.6%	36.8%	19.1%	1.5%
教員	10.0%	70.0%	20.0%	0.0%

	1回目	2回目
生徒	94.7%	
保護者	79.4%	
教員	80.0%	

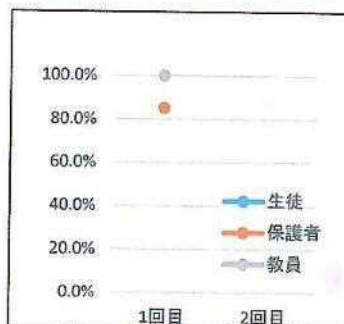
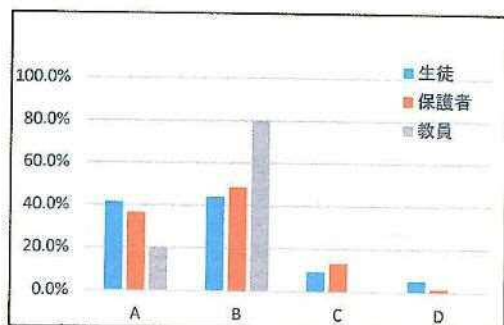
	1回目	2回目
まなびフェスト		
生徒AB合計	94.7	
比較		

生徒の肯定的回答率は94.7%と高く、意識して挨拶していることが読み取れます。

挨拶は最も有効なコミュニケーションの一つです。生徒の意識をさらに高め、地域や学校において、明るく元気に、そして自分から行う挨拶ができる生徒をさらに増やしていきます。ご家庭でも挨拶の励行をお願いいたします。

⑨自分には、良い所があると思っている

(まなびフェスト関連項目)



	A	B	C	D
生徒	41.3%	44.0%	9.3%	5.3%
保護者	36.8%	48.5%	13.2%	1.5%
教員	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%

	1回目	2回目
生徒	85.3%	
保護者	85.3%	
教員	100.0%	

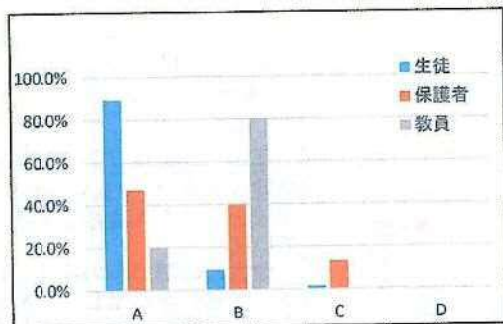
	1回目	2回目
まなびフェスト	80	
生徒AB合計	85.3	
比較	5.3	

三者とも肯定的回答割合が高く、頼もしい結果となっています。

学校・家庭とそれぞれ生徒の自己決定場面を意図的意識的に設け、「生徒自身の考えや行動を認めること」が自己肯定感につながると考えます。

引き続き、生徒の肯定的回答率100%を目指してまいります。

⑩人の気持ちがわかる人間になりたいと思う (まなびフェスト関連項目)



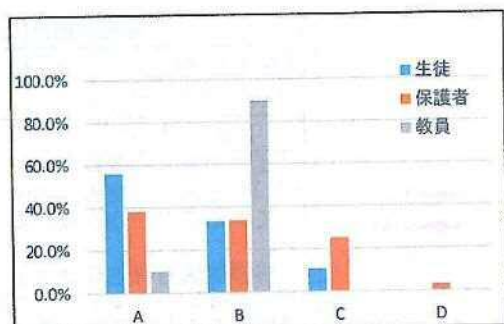
	1回目	2回目
まなびフェスト	80	
生徒AB合計	98.7	
比較	18.7	

三者とも目標値を超える非常に高い肯定的回答率の項目です。
 学校では、道徳のみならず、教育活動全体を通じて、相手の気持ちを思いやる姿勢を育み、100%到達を目指したいと思います。ご家庭でも引き続き生徒の心の「耕し」をお願いします。

	A	B	C	D
10 生徒	89.3%	9.3%	1.3%	0.0%
10 保護者	47.1%	39.7%	13.2%	0.0%
10 教員	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%

	1回目	2回目
AB計 生徒	98.7%	
AB計 保護者	86.8%	
AB計 教員	100.0%	

⑪家族の一員として、家事を受け持ったり、手伝いをしたりしている



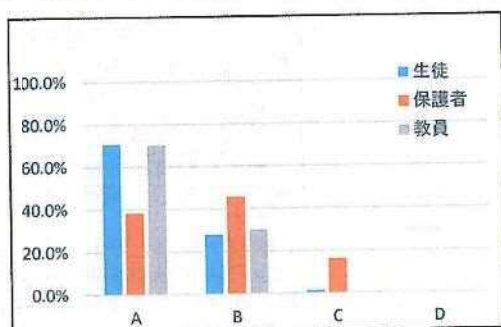
	1回目	2回目
まなびフェスト		
生徒AB合計	89.3	
比較		

生徒と保護者との認識のずれが見られる項目です。
 将来の進路選択や職業選択に向けて、日頃から自分の役割を果たせるようになってほしいという大人の期待がうかがえます。家庭でできる身近なキャリア教育の一つが家事や手伝いです。
 今後も声かけと励ましをお願いします。

	A	B	C	D
11 生徒	56.0%	33.3%	10.7%	0.0%
11 保護者	38.2%	33.8%	25.0%	2.9%
11 教員	10.0%	90.0%	0.0%	0.0%

	1回目	2回目
AB計 生徒	89.3%	
AB計 保護者	72.1%	
AB計 教員	100.0%	

⑫学校がいじめや暴力を許さない学校づくりに取り組んでいると思う



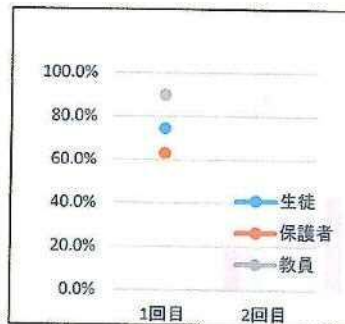
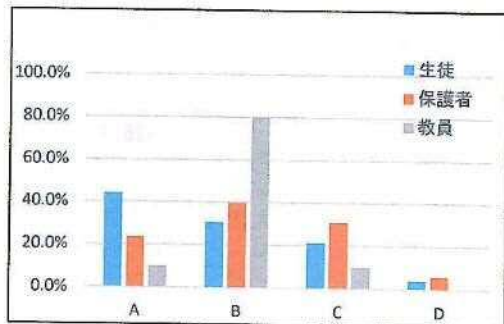
	1回目	2回目
まなびフェスト		
生徒AB合計	98.7	
比較		

生徒・保護者・教員とも、肯定的回答の割合が高い結果となりましたが、保護者のCの割合が気になります。
 Cの割合を減らすべく、人権教育をさらに充実していくとともに、これからいじめ・暴力の「未然防止」「早期発見」「早期解決」に努めてまいります。

	A	B	C	D
12 生徒	70.7%	28.0%	1.3%	0.0%
12 保護者	38.2%	45.6%	16.2%	0.0%
12 教員	70.0%	30.0%	0.0%	0.0%

	1回目	2回目
AB計 生徒	98.7%	
AB計 保護者	83.8%	
AB計 教員	100.0%	

⑬「早寝早起き朝ごはん」の習慣が身についている



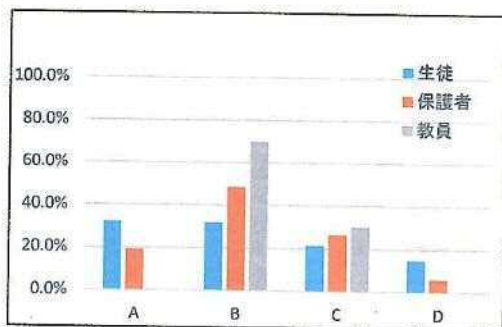
	1回目	2回目
まなびフェスト		
生徒AB合計	74.7	
比較		

教員の認識に対し、生徒および保護者の肯定的回答割合が低い項目です。
 別途実施の「生活習慣アンケート」によると朝ごはんを全く食べない生徒が3%、平日の就寝時刻が深夜12時を超える生徒が9%ほどいます。体や脳の成長に不可欠な成長ホルモンの分泌が最も盛んな午後10時～深夜2時に質の良い睡眠をとれるのが望ましいです。

	A	B	C	D
13 生徒	44.0%	30.7%	21.3%	4.0%
13 保護者	23.5%	39.7%	30.9%	5.9%
13 教員	10.0%	80.0%	10.0%	0.0%

	1回目	2回目
AB計		
生徒	74.7%	
保護者	63.2%	
教員	90.0%	

⑭家の人と健康や食事について話をする



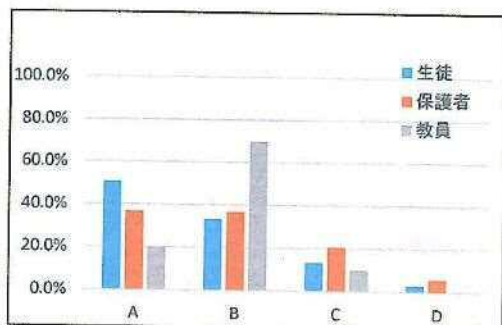
	1回目	2回目
まなびフェスト		
生徒AB合計	64.0	
比較		

生徒・保護者の肯定的回答の割合が65%近い結果となりました。また、Dの割合も気にかかります。
 学校では、保健室だよりや成長期の体と心、食育について授業等で学習する機会を設けています。ご家庭でも保健室だよりを活用し、健康について一方通行にならないような会話を工夫していただければ幸いです。

	A	B	C	D
14 生徒	32.0%	32.0%	21.3%	14.7%
14 保護者	19.1%	48.5%	26.5%	5.9%
14 教員	0.0%	70.0%	30.0%	0.0%

	1回目	2回目
AB計		
生徒	64.0%	
保護者	67.6%	
教員	70.0%	

⑮メディアの活用について「居間9ルール」を知っている



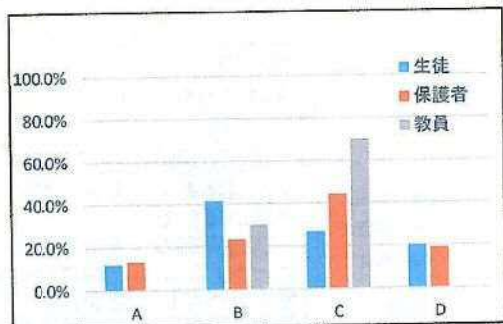
	1回目	2回目
まなびフェスト		
生徒AB合計	84.0	
比較		

「居間9ルール」とは一関市教育委員会による「各家庭で、スマホやiphone、タブレット、ゲーム機等を午後9時には居間に置き、使用しない」という取組みで、市内小中学校とご家庭とで連携して行われるものです。ご家庭では「お子さんが夜9時に機器を居間に置き、それ以降使用しない」ことを確認することになっています。

	A	B	C	D
15 生徒	50.7%	33.3%	13.3%	2.7%
15 保護者	36.8%	36.8%	20.6%	5.9%
15 教員	20.0%	70.0%	10.0%	0.0%

	1回目	2回目
AB計		
生徒	84.0%	
保護者	73.5%	
教員	90.0%	

⑩メディアの活用について「居間9ルール」を守っている (まなびフェスト関連項目)



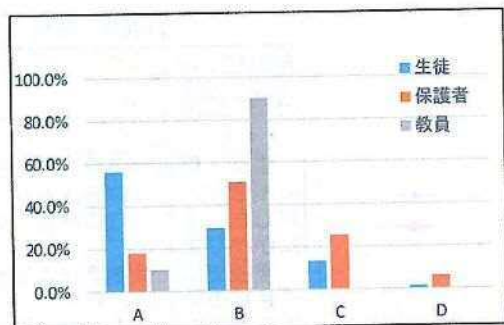
	1回目	2回目
まなびフェスト	80	
生徒AB合計	53.3	
比較	-26.7	

⑩とも関連しますが、メディアとの付き合い方は本校の大きな課題です。メディア使用による青少年への悪影響についてはマスコミでも盛んに報道されておりご存じのことと思います。本校でもPTA総会で「居間9ルール」をお配りして説明し、期末面談でも資料をお配りしているところですが、今後一層のご家庭での取組みをお願いします。

	A	B	C	D
16 生徒	12.0%	41.3%	26.7%	20.0%
16 保護者	13.2%	23.5%	44.1%	19.1%
16 教員	0.0%	30.0%	70.0%	0.0%

	1回目	2回目
AB計 生徒	53.3%	
AB計 保護者	36.8%	
AB計 教員	30.0%	

⑪健康を考えた運動や食事を心がけている



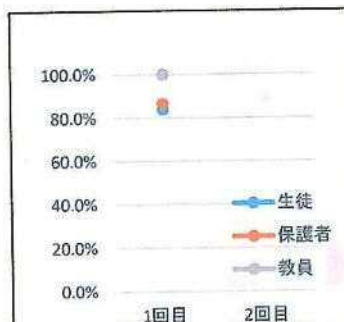
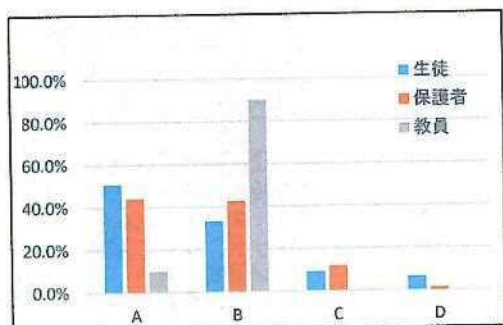
	1回目	2回目
まなびフェスト		
生徒AB合計	85.3	
比較		

生徒の回答は概ね肯定的ですが、保護者との認識に違いがあることが読み取れます。学校では、全校運動の取組みを実施しています。体育の授業や学年毎の運動の時間、部活動も含めた運動習慣指導や、食育指導を通して、健康の保持増進のために、さらなる意識向上を図ってまいります。

	A	B	C	D
17 生徒	56.0%	29.3%	13.3%	1.3%
17 保護者	17.9%	50.7%	25.4%	6.0%
17 教員	10.0%	90.0%	0.0%	0.0%

	1回目	2回目
AB計 生徒	85.3%	
AB計 保護者	68.7%	
AB計 教員	100.0%	

⑫悩みを相談できる先生がいる



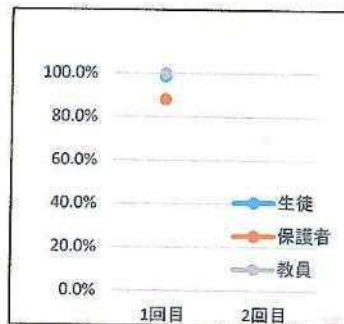
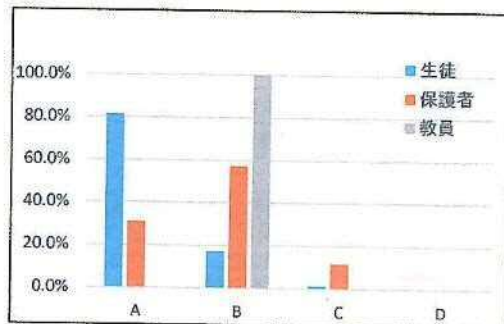
	1回目	2回目
まなびフェスト		
生徒AB合計	84.0	
比較		

生徒・保護者とも高い肯定的回答率をいただいております。学校としても大変ありがたく感じています。心身の成長が著しい中学時代は、悩みの多い時期でもあります。決して一人で抱え込むことが無いよう、お家の方や仲間、そして地域の方々のお力をお借りしながら、学校も生徒の成長を支援してまいります。

	A	B	C	D
18 生徒	50.7%	33.3%	9.3%	6.7%
18 保護者	44.1%	42.6%	11.8%	1.5%
18 教員	10.0%	90.0%	0.0%	0.0%

	1回目	2回目
AB計 生徒	84.0%	
AB計 保護者	86.8%	
AB計 教員	100.0%	

⑱先生は、礼儀正しく誠実に対応してくれると感じている

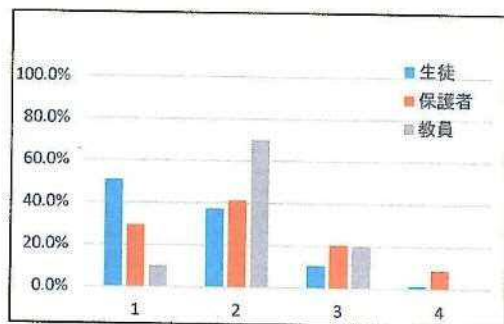


	1回目	2回目
まなびフェスト		
生徒AB合計	98.7	
比較		
生徒・保護者・学校とも、肯定的回答率が非常に高い結果となりました。 学校では、引き続き生徒一人ひとりを尊重し、丁寧に向き合っていきたいと考えます。教職員の意識をさらに高め、100%の肯定的回答率を目指してまいります。		

	A	B	C	D
19 生徒	81.3%	17.3%	1.3%	0.0%
19 保護者	30.9%	57.4%	11.8%	0.0%
19 教員	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%

	1回目	2回目
AB計 生徒	98.7%	
AB計 保護者	88.2%	
AB計 教員	100.0%	

⑳学校からの「通信」を、家の人にきちんと見せている

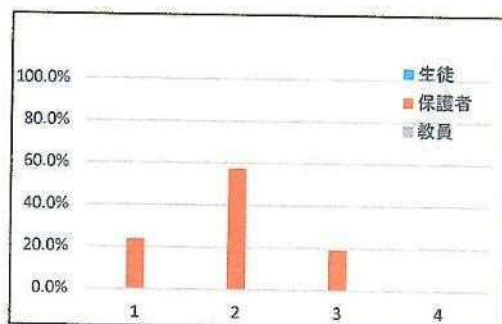


	1回目	2回目
まなびフェスト		
生徒AB合計	88.0	
比較		
生徒の肯定的回答が9割に迫る結果となりましたが、保護者の肯定的回答が約7割となりました。 学校と家庭は生徒の成長を支える両輪ですので、今後とも情報共有を図ってまいります。ご家庭でもご確認をよろしくお願いいたします。		

	A	B	C	D
20 生徒	50.7%	37.3%	10.7%	1.3%
20 保護者	29.4%	41.2%	20.6%	8.8%
20 教員	10.0%	70.0%	20.0%	0.0%

	1回目	2回目
AB計 生徒	88.0%	
AB計 保護者	70.6%	
AB計 教員	80.0%	

㉑学校の様子が通信等でよくわかると思う《保護者対象》

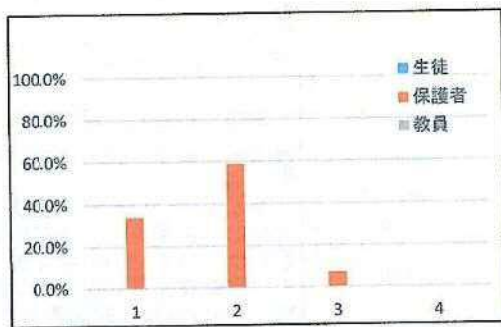


	1回目	2回目
まなびフェスト		
保護者AB合計	80.9	
比較		
肯定的回答が約8割という結果となりました。学校としてもとても励みになります。 ご家庭や地域の方々に、学校の様子をさらに詳しく知っていただくため、2学期も、学校広報、学年通信、学級通信、学校HP等を通してさらに発信してまいります。		

	A	B	C	D
生徒	-	-	-	-
保護者	23.5%	57.4%	19.1%	0.0%
教員	-	-	-	-

	1回目	2回目
AB計 生徒	-	-
AB計 保護者	80.9%	-
AB計 教員	-	-

②学校（担任や関係職員）に相談しやすいと思う《保護者対象》



	1回目	2回目
まなびフェスト		
保護者AB合計	92.6	
比較		

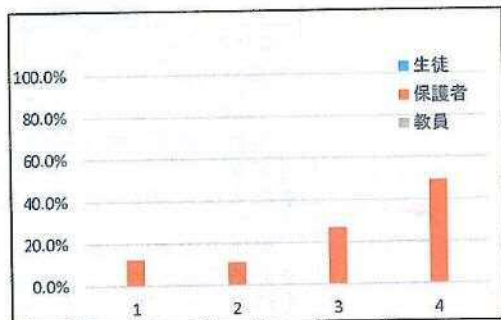
肯定的回答の割合が90%を超えるありがたい結果となりました。学校では、保護者の皆様の信頼に応え、さらに安心して相談できるよう真摯な対応に努めてまいります。

お子さんのことで違和感や不安なこと、困りごと等ございましたら、どうぞ遠慮なくお声がけください。

	A	B	C	D
19 生徒				
19 保護者	33.8%	58.8%	7.4%	0.0%
19 教員				

	1回目	2回目
AB計		
生徒		
保護者	92.6%	
教員		

III ①私の家庭は、家庭で取り組むまなびフェストを設定した《保護者対象》



	1回目	2回目
まなびフェスト		
保護者AB合計	23.8	
比較		

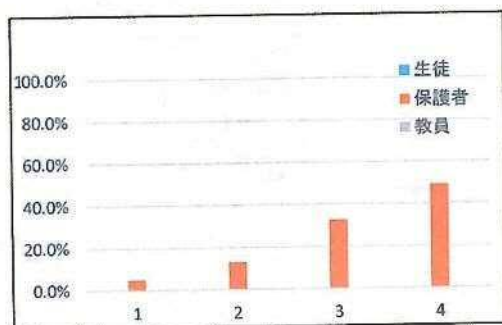
まなびフェストを設定しているご家庭は全回答中4分の1以下という結果です。正直なご回答に感謝します。この結果を真摯に受け止めなければなりません。

まなびフェストに取り組むご家庭が少ないのはなぜか…。日々の生活の中で時間の確保が難しいのか、思春期により会話しづらいのか、あるいは取り組みそのものに意義を感じづらいのか…そのあたりの精査が必要だと考えます。

	A	B	C	D
19 生徒				
19 保護者	12.7%	11.1%	27.0%	49.2%
19 教員				

	1回目	2回目
AB計		
生徒		
保護者	23.8%	
教員		

②私の家庭は、家庭で決めたまなびフェストに取り組んでいると思う《保護者対象》



	1回目	2回目
まなびフェスト		
保護者AB合計	18.0	
比較		

学校では、教科の学習はもちろん、生徒の健全育成のための健康指導や社会性を養うための指導支援など、日々様々な教育活動を行っています。今後もその充実に邁進する所存です。

ご家庭はお子さんが平日の3分の2を過ごす健全育成の基盤。本日再度まなびフェストを配布しますので、掲示の上、何かしら取り組んでいただけたらと思います。

	A	B	C	D
19 生徒				
19 保護者	4.9%	13.1%	32.8%	49.2%
19 教員				

	1回目	2回目
AB計		
生徒		
保護者	18.0%	
教員		

IV 今後、教科以外で力をいれたい教育分野

保護者		教職員	
キャリア教育	26	情報モラル	9
情報モラル	23	キャリア教育	5
道徳教育	13	健康	4
国際理解、安全防災、性教育の 3つが12で次点でした。			

お忙しい中、アンケートへのご協力ありがとうございました。今後の教育活動に生かしてまいります。

